

特定非営利活動法人日本栄養改善学会 関東・甲信越支部会
第 22 期 令和 6 年度 第 2 回 幹事会 議事録

日時:2025 年 2 月 17 日(日) 17:00~18:00

会場:オンライン会議システム ZOOM

出席幹事 木村典代(支部長)、水上由紀(副支部長)、石川祐一(支部会学術総会解消)、竹内真理、
武見ゆかり、海老原泰代、小澤啓子、高田和子、吉崎貴大、山岸博之、五味郁子、村山伸子、
玉浦有紀、古閑美奈子、石原三妃、

出席監事 藤田睦、鈴木一恵

オブザーバー 石見佳子(第 72 回学術総会大会長)

<議題>

1. 第 22 期(令和 6 年度)予算執行状況の報告(資料 1)

会計担当の竹内幹事から実践栄養学セミナーは 3 月まで開催されるため、現在は会場費のみ計上していること、学術総会は 2 月 8 日に開催された直後のため、11 月に開催された市民公開講座のみ計上していることが報告され、承認された。

2. 第 12 回支部会学術総会担当の件(資料 2)

木村支部長より資料 2 に基づき、第 23 期(2025 年度)は学会の学術総会が東京農大で開催されるため、第 12 回支部会学術総会と市民公開講座は 2026 年度に開催されることが報告された。

第 12 回関東・甲信越支部学術総会および市民公開講座は神奈川県が当番になり、関東学院大学の山岸博之幹事にお引き受けいただけることが報告され、承認された。

3. 活動報告と今後の活動予定

(1)市民公開講座 (資料 3)

石川幹事より資料に基づき報告があった。毎年学科で開催している「食のフォーラム」と共同開催にすることで、会場費講師謝金等の負担が無かったことが報告された。

当日は 181 名(学生含む)の参加があったことが報告された。

(2)第 11 回関東・甲信越支部学術総会(報告)

2025 年 2 月 8 日に茨城キリスト教大学にて茨城県栄養士会との共催で開催された(参加者数は 101 名(《学生含む》))。会場費が無償であったこと、特別講演講師の謝金・交通費については茨城県栄養士会が負担したこと、企業展示や抄録の広告掲載など 5 社の協力があったことが報告された。また、参加費は学会の収入としたが、シンポジストの 3 名が非会員だったため、謝金(源泉徴収費含む)および旅費、消耗品費については、支部活動費から補填することが報告された。会計等の報告はこれから行うことが報告された。

(3)第 4 回実践栄養学研究セミナー 報告・予定

担当の小澤幹事から導入編に始まり、5 月、10 月、2 月の 3 回が開催され、3 月 23 日に報告会が開催される予定であることが報告された。ここまで参加者 8 名は全員継続できおり、チューターの先生方の熱心なサポートのおかげであると報告があった。木村支部長からは準備やサポートにかかる時間や労力が大きいので謝金へ反映させたいと考えていることが報告された。

4. 第 72 回日本栄養改善学会準備状況等

石見大会長より 2025 年 9 月 12～14 日に東京農業大学で開催されることが報告された。続いて、大会テーマは「実践栄養学のエビデンス提案と展開」であること、特別講演、シンポジウム等の報告、会場の紹介があった。2 月 20 日の栄養学雑誌に詳細は掲載予定であること、3 月 5 日から演題募集が始まることが報告された。

<支部への依頼>

(1) 3 月 5 日から演題登録が始まるので、ぜひ演題登録をお願いしたい。特に学生発表、ヤングアワードも企画している。

(2) 会場に栄養相談コーナーを設置し、東京都の栄養士会が担当する予定だが、支部栄養士会にも協力をお願いしたい(各栄養士会ブース展示は無料とのこと)。

(3) 企業参加を募集しているので、心辺りのある先生方はぜひご紹介いただければ趣意書を郵送すると報告があった。

5. 2025 年 1 月度理事会報告(資料 4)

木村支部長より資料について説明があった。特に若手会員の獲得を目指しているので、本部 HP 上に若手の会員募集に向けた動画を配信しているので、関係者の皆さまに見てほしいことが報告された。

6. その他

次回第 23 期第 1 回幹事会は日本栄養改善学会開催期間中に東京農業大学で開催予定である。

・2025 年度支部総会等について審議予定

・メンバー交代の時期だが、継続の方向でお願いしたいことが依頼された。

以上